

情報社会学会 次世代部会 平成 18 年度活動計画(案)

[活動方針]

現代社会の変容(ICT の影響)の研究を基礎として情報通信技術(ICT)と社会システムの総合的な研究を目指し、ワークスタイルとしての分散協調ワーク(Adaptive Collaboration)とライフスタイルとしての自立共生社会(Conviviality)を目指して電子政府など情報社会の基盤と次世代の情報社会のあるべき方向性を確立するための研究を推進する。 Web2.0 にみられるように XML Web サービスを利用した新しいコミュニケーションの考え方やビジネスモデルが稼働している。これらシチズン・セントリックとも言うべき考え方でネットワークを利用する動きについて研究するとともに社会システムへの応用を研究し実証をつうじて実際に稼働するモデルを作成することを目標とする。

[主要研究テーマ]

次世代技術、標準および政策の調査・研究
情報社会基盤技術の実証実験企画立案・実施
情報社会基盤の普及・啓発および教育支援
国内外の関連諸団体との連携
その他

[主要目標]

安心・安全な次世代インターネットデータセンターモデルの確立
デジタルでの原本性確保・長期保存の基盤確立
XML Web サービスによるビジネスモデルの研究(Web2.0 の次の世代の研究)
情報社会基盤構築の指針と提言およびその国際標準化
XML Web サービスによる情報社会基盤テストベッドの構築と継続的な運用
- 大学間高速大容量ネットワークの実現と次世代教育システムの研究 -

[活動内容]

1. 次世代データセンター、MAN 等情報社会基盤の研究
2. データ共有によるリアルタイム分散協調ワークの研究と次世代 Web サービスの研究
3. デジタル・コンテンツの高度利用モデルとその応用に関する研究(教育システム含む)
4. 電子入札・調達・契約・支払い等の国際標準化の推進と動向調査研究
5. 時刻認証基盤に関する応用研究
6. 大学間ネットワーク基盤構築と応用技術研究

[部会体制]

次世代部会

デジタルコンテンツの高度利用と原本性認証研究会: 主査 大橋正和(中央大学総合政策学部)

(タイムビジネス推進協議会等と共催)

分散協調ワーク分科会: 主査 堀真由美(白鷗大学経営学部教授)

(Web サービスイニシアティブ共催)